

# 農作業コツのコツ

【第2号】

平成30年4月7日

福光農業改良協議会

砺波農林振興センター 南砺班

福光農業協同組合 営農部

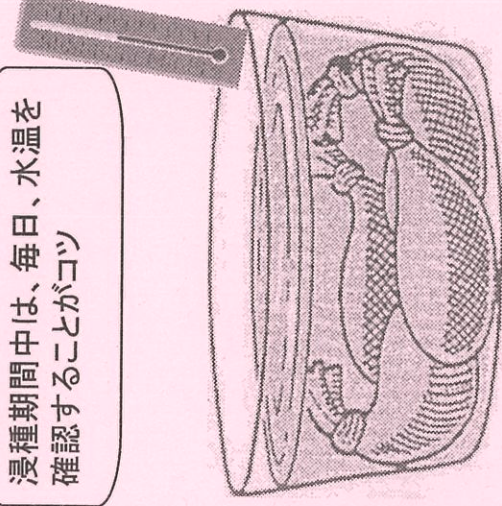
## 水 稲

### 1. てんこもり、コシヒカリの浸種

- (1) **種籾の量は袋の半分程度**としましょう。  
また、浸種水槽の**水量は種籾の2倍以上**としましょう
- (2) 浸種の**水温は10～15℃**を確保しましょう。特に、初日は水温 12.5℃を確保しましょう。
- (3) 浸種2日後からは**1～2日毎に水を入れ換え**るとともに、種籾袋をよくゆすった上で**上下を入れ換え**ましょう。

品種	水温	基準日数	積算温度
てんこもり	10～15℃	12日間	120℃以上
コシヒカリ		10日間	100℃以上

浸種期間中は、毎日、水温を確認することがコツ

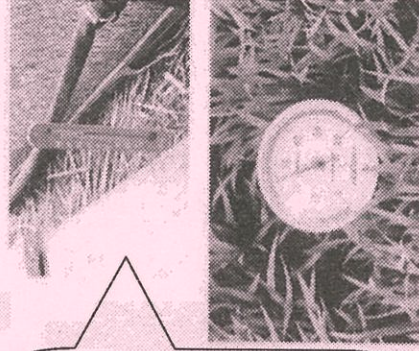


生産履歴記帳・GAP活動を実践しましょう。

### 2. 五百万石、とみちからの搬出後の温度・水管理

《管理の目安》

		緑化期	硬化期
ハウス内の温度管理	昼間	25℃以下	
	夜間	10℃以上	
水管理		かん水過多に注意 水不足による葉ヤケに注意	<b>原則、朝1回</b> (但し、日中床土が乾いた場合は適宜十分かん水)



温度計は苗箱付近に設置するのがコツ。

◎搬出後のかん水は、**覆土を落ち着かせる程度**としましょう。

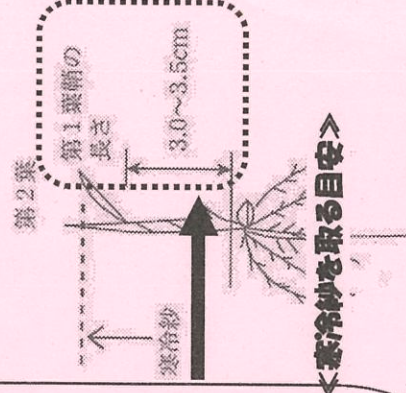
◎寒冷紗などによる被覆は、**搬出後3～5日程度**とし、第1葉が展開し第2葉が寒冷紗から「つつく」出てきて、第1葉鞘の長さが3～3.5cmとなった頃を目安に取り除きましょう。

◎ハウス内の温度は**25℃以下**となるよう、**緑化中でも十分な換気**を行いましょ。

※ハウス内の温度が30℃を超えると、病害の発生や軟弱徒長苗を助長します。

第2葉のつつく

寒冷紗を外すタイミングのコツは「つつく」が出てきて、第1葉鞘の長さが3～3.5cmになった頃。



### 3. 病害対策

病害、症状(菌名)	薬剤名	タフブロックとの併用	使用倍数	散布量	防除時期
赤カビ(フザリウム菌) ムレ苗(ピシウム菌)	タチガレエースM 液剤	可	500倍	500 ml/箱	発芽後

※白カビ、青カビが見られた場合は、早急にJA営農部(Tel:52-4153)にご相談下さい。

**搬出後に低温状態が続いた場合は、ムレ苗の予防と発根促進を兼ねて、タチガレエースM液剤を散布**しましょう。

## 大豆

播種時に乾いた土壌状態を確保するため、作付予定ほ場に早めに額縁排水溝の設置とサブソイラによる心土破碎を実施しましょう。

4/1～5/31 は「春の農作業安全運動」期間です。農作業事故対策を徹底しましょう。